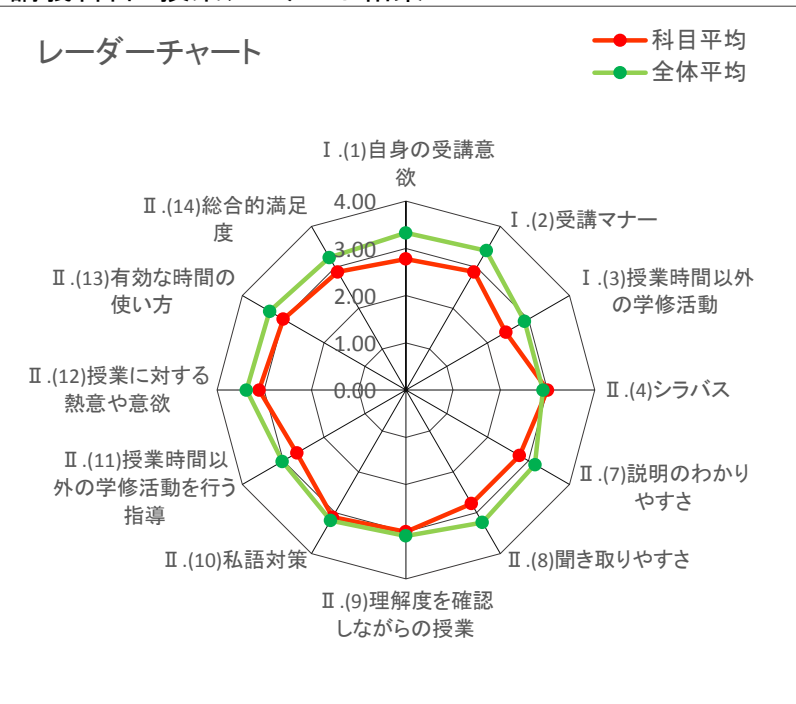
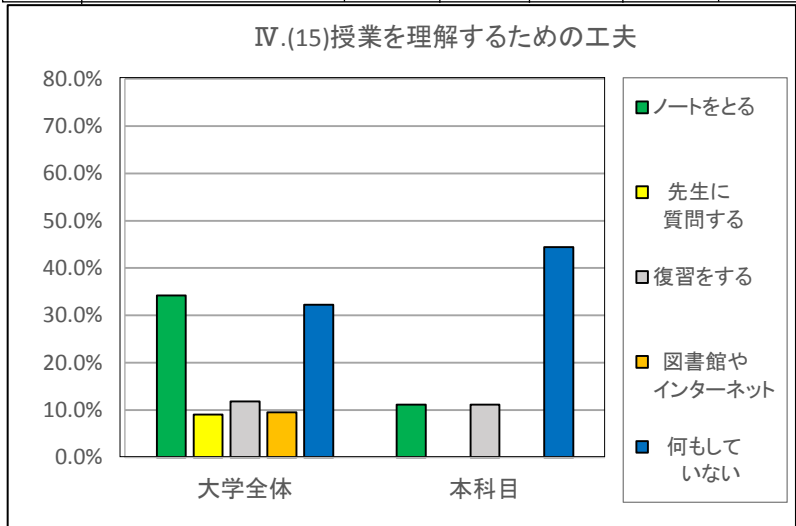


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	44.4%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	23307
科目名	英語読解 I
教員名	

①授業計画の達成度について

受講生は3, 4, 5年生であり、再履修を繰り返してきた、すなわち英語の苦手な学生が主であったと思われることから、シラバスどおり発展的な内容よりも基礎を重視した授業を行なったつもりである。その結果、難易度に対する数値も適度なものであったと思われる。そしてシラバスで掲げた目標どおり、基礎学力は少なくとも最低限は確保できたのではないかと思う。

②授業の進め方について

説明の分かりやすさについて平均をやや下回ったのは、特に学生のレベルと理解力のせいもあるのではないかと思われるが、やはり私の力不足によることも少なくなかったであろう。理解度のチェックについては、毎回の授業の最後に単語、熟語の書き取り、英作問題の復習としての英文の書き取りを行なったので、ほぼ平均並みの数値が得られたのではないだろうか。私語については、学生が少人数だったこともあってとても静かで、特に対策の必要性も感じられなかった。にもかかわらず、総合的満足度は全体平均をやや下回る結果となった。基礎学力の不十分な学生への対処の難しさを改めて感じさせられた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

授業については以上のように至らない点も少なくなかったことは確かであるが、試験前指導をこれまでになく念入りに行なったせいもあり、学習意欲を失いかけていた学生も含め後期試験を受けた学生を全員合格させることができたのは何よりであったと思う。しかし基礎学力も不十分で苦手意識の強い学生に対し基礎学力の立て直しを図っていくことの難しさを改めて痛感させられた。来年度は4年生以上が対象となるため、対処もより難しくなるはずであり、学生の意欲を少しでも向上させつつ基礎的な事項の再確認を徹底させることが今年度以上に重要となるであろう。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	2.78	3.33
	I.(2)	2.89	3.41
	I.(3)	2.44	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.00	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	2.78	3.16
	II.(8)	2.78	3.24
	II.(9)	3.00	3.09
	II.(10)	3.11	3.19
	II.(11)	2.67	3.03
	II.(12)	3.11	3.38
	II.(13)	3.00	3.33
満足度	II.(14)	2.89	3.24

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	2.70	3.21
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	2.93	3.17
II.(4)~(13)		
総合的満足度	2.89	3.24
III.(14)		